

認知症予防啓発ドラマ制作

だいじょうぶ！ 上田さん

京丹波町ケーブルテレビ



○ドラマ制作背景

京丹波町の高齢化率は37.9% (H27.3.31現在)

高齢者の6人に1人は認知症という現実

○ドラマ制作のねらい

家族が認知症になったときに、一人で抱え込まず

助けあえる地域づくりが必要であるため

○ドラマ制作スタッフ

企画・脚本・監督: 京都丹波オレンジロードつなげ隊

撮影・編集: 京丹波町ケーブルテレビ

協力: 京都府南丹保健所・京丹波町保健福祉課

京丹波町社会福祉協議会・町民



○出演

主人公 村上 富三郎 さん(77歳)

町内在住の男性

そのほか、町民ら10人が出演

○ドラマのストーリー

- ・主人公は京丹波町在住の男性(85歳の設定)
- ・最愛の妻が他界した後、認知症が始まり
車の低速運転や徘徊に家族が戸惑う
- ・京丹波町を徘徊中に高齢者サロンで保護される
- ・認知症ケアパスから相談窓口が紹介される



○苦勞した点

- ・京丹波町ケーブルテレビではドラマ作成は初めての試みで手探りでの制作となった
- ・番組出演者の確保に困難した
- ・事業所と連携し議論を深めながら企画、脚本をゼロから考えたが収集がつかない事態が多々生じた

○工夫した点

- ・介護の現場で活躍している町内の事業所や行政担当者介護に携わった町民と連携し議論を深めた
- ・認知症の症状について理解しやすい演出を心がけた

○番組制作の効果

- ・ドラマが町内で話題となり、多くの視聴者に広報できた
- ・行政や事業所、関係団体の横のつながりが密になった
- ・認知症講演会などで、ドラマが教材として活用されている



企画会議の様子(町内事業所にて)



ドラマ制作スタッフ